

# かさかけ 公民館だより

編集  
笠懸公民館編集協力員会  
みどり市笠懸公民館  
発行  
みどり市笠懸公民館

〒379-2311  
みどり市笠懸町阿左美1581-1  
電話：0277-76-2211  
FAX：0277-76-2836  
Eメール：kouminkan  
@city.midori.gunma.jp

## あふれる笑顔

### 笠懸地域こどもまつり



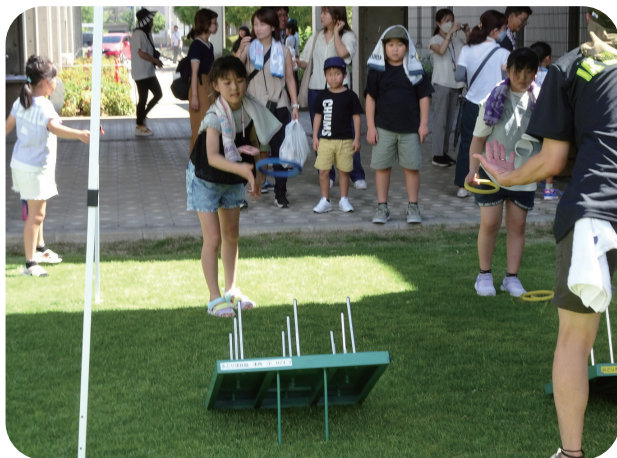
コロナ禍により令和元年度以降開催されていなかったこどもまつりが、4年ぶりに笠懸公民館に帰ってきました!!

『第36回みどり市笠懸地域こどもまつり』が8月26日(日)、笠懸公民館で開催され、子どもたちや親子連れで賑わいました。

主催は笠懸公民館、主管は笠懸地域こどもまつり実行委員会(阿左美文雄委員)



▲にぎわうエントランス



▲えいっ!! 入れえ!!



▲大盛況の各イベントブース (左からおもちゃ金魚すくい、プラバン作り、バルーンアート)

長で、笠懸町子ども会育成会連合会、笠懸地域青少年育成推進員連絡協議会、みどり市PTA連合会、ガールスカウト群馬県第57団、桐生おもちゃの病院等が参加。

恒例のストラックアウト、輪投げ、ヨーヨー釣り、おもちゃ金魚すくい、スーパースポーツ、バルーンアート、ビーズブレスレット作り、プラバン作り、おもちゃの病院、模擬店と多種多様で、長蛇の列がでるものもあり、どれも人気でした。



また、開始時刻の午前10時の時点で既に30℃超えの真夏日。みんな、かき氷や麦茶コーナーで乾いた喉を潤していました。

夏休み最後の週末、楽しくはしゃぎ回る子どもたちの向日葵のような笑顔が、笠懸公民館のいたるところで見られました。

来年も子どもたちのため工夫を重ね、実りあるこどもまつりを期待します。



## 真夏の思い出

### 親子釣り教室

7月30日(日)、市内3公民館主催「森林に学ぶ親子つり教室」の実釣体験が、両毛漁業協同組合の協力のもと、東町小夜戸地区の渡良瀬川で開催。参加者は7組16人の親子でした。

今回はピストン釣りを体験。川の中で下流に向かって立ち、エサをつけた竿先を水中で前後に押し引きを繰り返します。

川のコンディションは連日の猛暑と雨が少ない影響で、例年より流量が少なく水温も高めとのこと。それでも川の水はひんやり心地よく、参加者はピストン釣りを楽しんでいました。



▲釣れたあ!!

程なくあちこちで歓声が上がリ、ウグイやオイカワが次々と釣り上げられました。夏休みの思い出が刻まれた瞬間です。

昼食はヤマメの塩焼きです。しっかりと焼いてあるの、頭から尾びれ、骨まで全て食べられます。お代わりする参加者も多く、こちらも大好評でした。

午後もピストン釣りを体験し、参加者全員から喜び

## ブクブク シュワー

### おもしろ科学教室

8月5日(土)、笠懸公民館で群馬県生涯学習センターとの共催で、令和5年度おもしろ科学教室「オリジナルバスボールを作ろう」を催しました。

バスボールとは、固形の入浴剤で、お湯に浸すとシュワッと泡が出るあれです。

炭酸水素ナトリウムに有機酸を混ぜて、水やお湯に溶かすと二酸化炭素が出ます。今回参加した15名の小学生たちはこの化学反応を利用したバスボールを作り

の釣果が告げられました。

最後は、皆で釣り上げた魚の観察会とリリースです。

漁業組合の人が魚の特徴を解説すると、子ども達は興味津々に聴き入っていました。また、魚の入ったバケツを手渡され「遊んでくれてありがとう」、「もう釣られるな?」、そんな言葉をかけながら、バケツから魚が渡良瀬川に帰って行くのを笑顔で見守っていました。

ました。

炭酸水素ナトリウム(重曹)と、有機酸にはクエン酸を用い、さらに固形化するのに片栗粉を混ぜます。子どもたちは材料の配合を慎重に計量し、思い思いの型枠に色を加えたオリジナルのバスボールを作ります。

全員のバスボールが出来上がると、後半は屋外に出て、フィルムケースに余った材料と水を入れたロケットを飛ばして楽しみました。

わずかな分量ですが、炭酸ガスの圧力で、フィルムケースは公民館2階の高さまで飛び上がり、子どもたち

## 認知症を予防しよう

### 高齢者大学第2講

令和5年度笠懸地域高齢者大学の第2講がグンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)で、8月30日(水)開講されました。

第2講は「認知症予防く私たちにできること」と題してLUMIERE代表の久保田貴子さんの講義でした。

から歓声が上がります。

楽しく科学を体験した子どもたちは家に帰って、作ったバスボールをお風呂に入れ、暑い夏の日の疲れを取ったことでしょう。

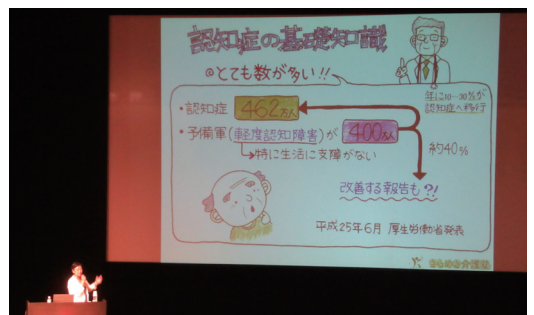


▲わたしだけのバスボール♪

「日本では平成25年には、認知症患者が460万人を超え、75歳以上の12人に1人は認知症と言われています。そして85歳以上では3人に1人と歳を重ねることに増えています」といいます。

講師は、家族の一員が認知症になったのを機に介護学を習得し、学んだことを多くの人に伝えたいと活動を続け現在に至っています。

認知症にはアルツハイマー型(50%)と脳血管性(30%)、レビー小体型(20%)があります。脳血管性認知症(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)は予防ができません。



▲まずは知り、そして予防しよう

すが、アルツハイマー型認知症は現在のところ効果的な治療法が見つかっていません。

また、防げる老化、防げない老化がありますが、認知症予防のためには脳の活性化を図ることも必要です。認知症と呆け(加齢による一時的な物忘れ)との違いはとの質問に対し、食事の例に、認知症のヒトは食べたいのに食べてないと言い、呆けのヒトは食べた食事の内容は忘れても食べたことを記憶していると答えていました。また、認知症のヒトとの会話では話がかみ合わず、一時的な物忘れのヒトとの会話は繋がっていきません。このように記憶力の低下が少しずつ重なってきます。



認知症予防に効果があるのは脳の活性化を図ることです。そのために楽しくなることをしながら脳に刺激を与えましょうと話を閉じました。

### お母さんと一緒教室

#### 色水シアター

連日35度を越す暑い日が続いていますが、そんな中でも子どもたちは元気に公民館の入り口で走り回っています。

8月4日(金)お母さんと一緒教室が、笠懸公民館で開催されました。

第4回目となる今回は、色水シアターと水遊びです。照りつける日差しを避けて公民館入口に設置されたテーブルには、青や赤、黄色の色水が入ったペットボトルが置かれていました。

#### おもいっきり自由こー!

8月25日(金)、音楽室で「リトミックダンス」を行いました。リトミックダンスは音楽に合わせて、自由に身体を動かし楽しみなからリズム感や運動能力などを育む活動です。

今回は6組の親子が参加。夏休み中の幼稚園児や小学生のお姉ちゃんたちも加

さあ!根岸先生のジュース屋さんの始まりです。事前に配ったチケットを子どもたちが一人一人先生の所に持って行くと、先生はオレンジやイチゴ、マスカットジュースなどまるで本物のごとく、作りあげていました。たった3色の絵の具で12色のジュースの出来上がりです。お母さんと子どもたちは歓声をあげて喜んでいました。

飲めないのがちよつと残念です。公民館で用意した麦茶で我慢かな・・・。その後、模造紙の上に絵の具をたらし、子どもたちはそれぞれに手形を押しただわってにぎやかでした。また2組の親子が新しく仲間入りしました。

タンバリンに合わせて自由に走ったり踊ったり、大判の軽いスカーフを使ってくぐったり投げたり子どもたちはキャッキヤ言いながら動き回りました。

アンパンマン体操や手遊び、紙芝居もあり、あつという間の楽しい時間でした。



▲ダンスに夢中♪



▲色水シアターの前でハイチーズ♪

りなで回したりして遊びました。いっぱい汚して遊んだ後は綺麗に手を洗って、かわいいプールに飛び込みます。首まで浸り本当に楽しそうな笑顔が水と共に輝いていました。

### 防災を考える

#### 垂直避難

今年も大雨災害が各地で起きています。

内閣府などが発表する警戒レベルは3で高齢者等避難、4で全員避難(水平避難)となっています。レベル5は緊急安全確保(垂直避難)で、すでに災害が起こっているか切迫していて避難できない場合です。垂直避難とは、避難所など別の安全な場所へ移動する途中で災害に巻き込まれてしまう恐れがあるため、今いる建物やすぐ近くの建物の2階以上に移動することで安全を確保し、災害への避難を待つことです。危険な状況になる前に安全な場所に避難することがベストですが、最適な避難方法はそれぞれの状況によって変わります。災害の危険がある場合はこまめに情報をチェックして下さい。



公民館を知って欲しい  
利用者の会理事會

笠懸公民館利用者の会  
第5回理事會が8月31日(木)  
に開催されました。

今回の協議事項は笠懸地域文化祭と利用者懇談會を中心に話し合いが行われ、どちらも共通のテーマを進めて行くことになりました。市民の皆さんに公民館のことを知って欲しいという願いから「公民館ってどんなところ？」をテーマに大事なことは『つどう・まなぶ・むすぶ』であり、それらがどういう事なのかについて伝えることに決まりました。

具体的に文化祭では、展示をし多くの方にまずは見てもらおう、そして利用者懇談會では、グループに分かれて話し合いをし、深めてもらうことを目的としました。利用者懇談會の日程は11月下旬に予定をしていますが。



## 令和5年度 笠懸地域文化祭

参加から参画、そして新しい仲間づくりへ ~みんなの思いをのせて~

期日：10月14日(土)・15日(日)

会場：笠懸公民館・グンエイホール PAL・及びその周辺



詳細は  
HPへ

### 作品展示 (会場：公民館)

14日 10:00 ~ 18:00 / 15日 10:00 ~ 16:00

【展示内容】 絵手紙/手芸作品/書道/水彩画/仏画/幼児・児童・生徒の作品/盆栽/写真  
フラワーアレンジメント/陶芸/俳句/織物/流木華道/団体等の活動紹介など

【参加団体】 (順不同)

赤城小品盆栽サークル/個人(盆栽)/フォト銀河/笠懸フォトクラブ/写学倶楽部/書道愛好会/彩画会/ささゆり会/花のサークル/プリ花/笠懸陶芸会/咲き織りの詩かさかけ/流木華道愛好会/四季の会/絵手紙カタクリの会/(公財)野村生涯教育センター群馬支部/笠懸町交通安全会/生命の貯蓄体操みどり準支部/アトリエアウン/阿左美幼稚園/笠懸幼稚園 PTA/笠懸小学校/笠懸東小学校/笠懸北小学校・笠懸北小 PTA/笠懸西小学校/笠懸中学校/笠懸南中学校/笠懸町婦人會/笠懸公民館利用者の會/市民講座運営委員會

### ステージ発表 (会場：グンエイホール PAL)

【発表内容】 アンデス音楽/舞踊/日本舞踊/フラダンス/オカリナ/詩吟/ジャズダンス/  
創作ダンス/ウクレレ/大正琴/吹奏楽/アコーディオン/サクソ演奏

【出演予定】 ※終演時間は目安です

14日 13:30 ~ 16:00 (開場 13:00)

琴藤会・花みずき会/春華/笠懸ヘルシーダンス/オルオル・フラ&タヒチアン/美どり会/ブーゲンビリア/  
舞踊の会 秋桜/フラ・モアニケアラ/カフェ・アンサンブル/フラ・レイモミ

15日 13:30 ~ 16:00 (開場 13:00)

工謳吹奏楽団/カプアフラ/舞舞会/フラ・モキハナ/佐昇会/(和)フラ&プルメリア/  
アンデス音楽を楽しむ会/みどり土笛の会/マカラプア&オキカ/桐生・みどりアコーディオンサークル

### 模擬店・イベント (会場：公民館内・芝生広場)

【模擬店】 14日、15日 10:00 ~ 15:00 (売り切れ次第終了)

笠懸町婦人會(焼きおにぎり・カレーライス・煮卵)/地区公民館連絡協議會(フランクフルト)

笠懸町子育連(焼きそば)/ヨガサークルパンジー(パン)/企画広報部會(うどん)

ガールスカウト群馬県第57団(15日のみ、チョコバナナクレープ・飲物等)

【即売】 ※時間等詳細はパンフレット参照

バザー：笠懸野合唱団(15日のみ)、ボーイスカウト桐生第17団、ガールスカウト群馬第57団

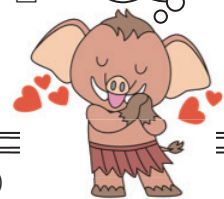
作品販売：赤城小品盆栽サークル、レーザークラフトなの花、笠懸陶芸會、七宝焼エマイユ9

【体験イベント】 ※時間等詳細はパンフレット参照

光希(生命の貯蓄体操)/笠懸囲碁クラブ(囲碁体験)/

親子将棋教室友の會(将棋体験)/花のサークル・プリ花(ドライフラワー他体験)

楽しみ  
だモス!



みどモス

### 実行委員会イベント (会場：公民館・野外ステージ・グンエイホールPAL他)

【ダンスライブ】 15日 10:30 開演(10:00 開場) 観覧無料(要整理券、詳細はチラシ参照!)

【かたん工作】 14日、15日 10:00 ~ 15:00 【野外ステージライブ】 予告なし開催!

【ミニトレイン】 14日 10:00 ~ 15:00 乗車無料 【大道芸】 15日 11:00 ~ 11:30 14:00 ~ 14:30

【ボルダリング】 14日、15日 10:00 ~ 15:00 【竹灯籠づくり】 14日 10:00 ~ 12:00 (材料費 500円)

【染め体験】 14日、15日 10:00 ~ 15:00 (材料費 1,000円)

### 夏夜の響き

一夜限りの夕涼み会

名残の夏、夕方のひと時を楽しもうと8月27日(日)、東町の童謡ふるさと館で『夕涼みの会』が開催されました。

スタートは野外にて清桜高校和太鼓部・友笛会(篠笛)・八木節踊りが披露されました。

その後ホールにて2度目のステージ、和太鼓の会場いっぱいになり響く音の迫力は圧巻で来場者を魅了。友笛会は1歳のお子様から大人まで参加し「うさぎとかめ」など浴衣姿で楽しませてくれました。八木節踊り、最後は語り部の島村さんが遠野物語の怖いお話を2話語りました。

夏の終わりを家族で楽しんでイベントでした。



▲浴衣で演奏

### ふんわり優しい絵

パステル画教室

M・D・O・R・J・ジュニアアカデミー事業の一環で「パステル画教室」(全3回)の最終日が8月9日(水)にふるさとギャラリーで行われました。これは子どもたちが本物や一流を見たり体験し、夢や未来を広げるために取り組んでいるみどり市主催事業です。

今回は洋画家・刺繍画家

### 間くと聴くの違い

傾聴ボランティア養成講座

傾聴ボランティア養成講座が8月30日(水)笠懸公民館視聴覚室で開催されました。日本傾聴ボランティア協会事務局長の山田豊吉氏の講演を聴きました。題は「傾聴の基本を学ぶ」です。傾聴とは相手の話を良く聴く事、相手の話に積極的に興味と関心を持つ事、否定せず受け止める事など、時にはユーモアを交えて楽しく話しました。

又、間くと聴くの違いはどのようなのでしょうか。

として活躍している荒木千恵子さんの指導で市内の小中学生約30人がパステル画に挑戦しました。

子どもたちはスイカや花



▲パステル画って楽しい♪

聞く⇨漠然と散漫に。

聴く⇨注意深く一生懸命に。

話す事や聴く事の大切さ、私達はなぜ話すのか、それは自分の考えている事を分かかってほしい、認めてほしい、そういう思いがあるから話すのです。又相手の言う事を聴く事は、相手の存在を認める事でもあります。傾聴ボランティアに向き、話を良く聴くことは、相手と良好な人間関係や信頼関係を築く基本となります。等々：講師の話をつなずきながら聴きました。簡単なようで難しい傾聴の基本、

火など手本の絵を見ながら画用紙に下絵を描き、パステル(チョーク様の画材)を指でこすって仕上げます。

パステルは多くの色があり先生にアドバイスを受けながらボカシやグラデーションの表現を楽しんで塗っていました。空を塗っていた子どもは「広いところを塗るのが大変だけど面白い」と笑顔で話してくれました。初めての体験で興味が一つ増えましたね。



▲皆、真剣に聴きいています

私達も普段の生活の中で間くと聴くの違いを踏まえ、相手との交流を深めたいと思います。大変勉強になった講座でした。

### 魔法の音色

群馬交響楽団特別演奏会

「笠懸野文化ホール開館30周年記念・群馬交響楽団特別演奏会」(珠玉のひとときをあなたに)が8月20日(日)にグンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)にて開催されました。

全国的にも音響が良いと評判のホールでは、群響の奏でる素晴らしい音色が館内いっばいに響き渡り、来場者を魅了しました。

今回はサクソフォン奏者で活躍している上野耕平氏のソロ演奏もあり特別感満載の公演でした。

アンコールは笠懸の地名の由来、笠をかけて弓矢を放った事にちなみウィリアムテルの曲としたと、指揮者の飯森範親氏から説明があり、お馴染みの軽快な曲で最後を飾りました。



▲タクトで奏でる



### 地区公民館だより④

#### 笠懸町第4区

笠懸町第4区では、7月15日(土)に、笠懸町行政区の先陣を切って納涼祭を開催しました。4年ぶりの納涼祭とあって、区民の方だけでなく他の区の方も来場し、大いに賑わいました。

久々の開催ということもあり、伝統は引き継ぎながら何か新しいことができないかと、区長、副区長、分館役員でアイデアを出し合いました。その結果、今年「メロンソーダ早飲み大

会」や、キッチンカーにも協力いただき、納涼祭価格で販売したり、区民の方に喜んでいただけるよう工夫をしました。

また、育成会による子ども神輿では、コロナ前をはるかに上回る子ども、保護者の参加があり、本当にお祭りを楽しみにしていたのだなあ、と実感しました。

準備、設営は非常に大変でしたが、子どもたちの楽しそうな顔や賑わいを思い返すと、開催できて本当に良かったと思います。天候にも恵まれ、無事開催でき

たことを、協力いただいた隣組長をはじめ、各団体の役員に感謝するとともに、今後も工夫を凝らしながら4区オリジナルの納涼祭を開催できればと思います。



▲子ども神輿 (4区納涼祭)

## こえの ひろば

### テクテクお城歩き(4)

佐倉城 歩遊人

千葉県の佐倉市にある佐倉城は日本100名城のひとつです。資料によれば地元の豪族千葉氏が中世の城郭を築いたと言われています。1610年、土井利勝が入封して、1647年に

かけて大修復し、そして、江戸の背後を固める城として代々譜代大名の居城となったとあります。水堀、空堀、土塁を築き守りを固めたといえます。

城は京成佐倉駅から徒歩約20分、大手門跡を過ぎ右手に「くらしの植物園」をみると、佐倉城址公園となります。林の中の道を三の門跡、二の門跡を抜け本丸跡へ、その一角に天守閣跡がありま



▲佐倉城 天守跡

また、市街地には佐倉武家屋敷、麻賀多神社、佐倉新町おはやし館、旧川崎銀行佐倉支店を活かした美術館などがあり、歴史・文化施設など見所がありました。

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

### コラム 豆電球



#### 「カメレオンは周囲に合わせて変色しない?」

カメレオンというと、周囲の景色の色に合わせて体の色を変えるというイメージだが、実際はそうではなかったようだ。

まずはカメレオンの体の色を変えるメカニズムについて触れておこう。カメレオンの皮膚の色

は透明で、その透明の皮膚の下に色素が入ったチューブのようなものがあり、そのチューブから色を出し入れすることによって、体の色を変化させる。

実はカメレオンは目で周囲の色を識別しているのではなく、皮膚の表面で色を感じている。しかし、だからといって周囲の色に合わせて体の色を変えているわけではない。人間が見えない色に変えていることもある。

り、カメレオンの色は光や温度、そして感情の動きによって変化しているだけなのだ。

たとえば、興奮すると色が薄くなり、日差しが強くなると暗褐色、日がかげつたり気温が低いときには灰色になる。カメレオンらしい鮮やかな緑色を保っているのは、日かげり気温が高いとき



列車にゆられて(63)  
豊橋鉄道 市内線

野利 哲



▲ T1000 形 全面低床電車

愛知県豊橋市内には今では数少なくなつた市内電車が走っています。正式な路線名は豊橋鉄道「東田本線」といいます。駅前から赤岩口までの4.8 km、赤岩口の一つ手前の井原から運動公園前までの0.6 km、合わせて5.4 kmの路線です。

市内電車の開業は1925(大正14)年で、まもなく100周年を迎えるといえます。

駅前を発つた電車は自動車で混み合う道路上に敷かれた線路の上を走ります。運転士さんの気が抜けませんね。加速、減速を繰り返しながらの走行です。全線の

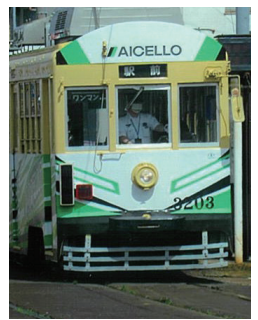
乗車時間は約22分です。市役所前停留所から東八町停留所までは、グリーンベルト地帯を駆け抜けます。豊橋公園前停留所から徒歩5分のところに続日本100名城の吉田城があります。足を運んでみたらどうでしょう。豊橋市のシンボリック存在となつていよう

です。特筆すべきは井原から分岐して運動公園前に向かうカーブ。半径11mで日本一小さいカーブといえます。T1000形(全面低床車両)の車両は通行不能と聞きました。この車両に乗り

幸せを歌にのせて♪  
高戸 左近

8月5日(土)、グンエイホールPALで開催されたNHKのご自慢予選会に参加しました。書類審査を通過した200名は猛者揃い。選んだ曲はアニメ「セーラムーン」のオープニング。力強い歌詞と伸びやかなメロディにいつも救われてきました。毎日、通勤

の車内で練習。ひよつとしていい線いけちゃう…!? なんて、甘かった。舞台上上がった瞬間、心臓はバクバク、声が上がります!結果、残念ながら本選出場ならず。けれど、歌が好きなのがこんなにいるというのがとても幸せで、お祭りみたいな1日でした。ただ、正直もつと歌いたかったなあ!!絶対リベンジするから待ってろよお!!



▲ 3200 形

ました。車椅子対応車両で乗り心地満点でした。車両は現在18両在籍し、定期運用で半数が輪番制で走っているといえます。車両形式は3200形、3500形、780形、800形と平成20年に新造されたT1000形(愛称ほつトラム)です。運賃1回180円 一日フリーキップ500円

四季の会 九月句会



救急で運ばる患者秋暑し  
買ひ物は息子にたのむ大残暑  
一斉に飛びだすトンボ追ふ児ども  
十六夜や実家の兄と酒を酌む  
砂すくふ球児に酷暑の夏終る  
アンパンマンの帽子に止まるトンボ  
プランターの茄子の木枯れる残暑かな  
大の字で見つめる先は秋の雲  
おみなえし実家の庭で五六本  
あさがおの残る蕾をかぞふ孫  
夕月夜むすこの電話で目が覚める  
追ひ込みの子らの宿題夏休み  
台風の進路気になる夕間暮れ  
宿題の孫を見まもる秋の虫  
からくりの人形修理夜長の灯  
けもの道猫が見つける秋の蛇  
かなかなや「仙寿」の俳句読みかへす  
中古車の赤ひ値札に秋の雨  
枝豆のご飯を羽釜で昼の膳  
睡蓮の花色あまた阿左美沼  
萩の寺たづぬる秩父母の墓  
衣かつぎ皿に盛らるる三個かな  
ハゼ料理妻の実家の味旨し  
夫の背中つかず離れず秋茜  
かなかなに送られて逝く父の葬  
まだ青き屋敷のあけび風に落つ  
吾がかゝるな夫を抱きて秋の雲  
猫の小屋風に飛ばさる秋の夜  
台風の子報で止まるローカル線  
露天湯に娘と浸かる山の宿  
梨ばたけ販売始む鳥羽の村  
考妣に秋ゆり供ふ墳墓かな

- 櫻本 千春
- 国木美代香
- 中野 千鶴
- 宇野 順雪
- 泉 純佳
- 松島 陽春
- 平川 秋桜
- 佐藤由美香
- 高野 春蝶
- 中谷 邦女
- 金井 英磨
- 高野 光詢
- 細川 由桂
- 川道ひさ女
- 前原 紫蘭
- 童 鳥海
- 糸井 梅光
- 横倉 雅
- 韓 百日紅
- 新羅 光海
- 石原 青蓮
- 冠 二郎
- 徳田 夕子
- 細川 和勘
- 糸井 初音
- 小林 狐一
- 吉田 和義
- 小川 華笑
- 榎沢 春蘭
- 宇野由希子
- 村田 小町
- 宇野 勘大
- 金 光月



### 上毛かるた㊦

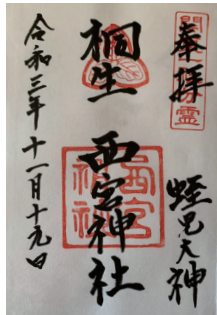
#### 御朱印レディー

揃いの支度で八木節音頭

群馬県の夏祭りと言えば、八木節、その中でも桐生八木節祭りは全国的にも有名です。

八木節の発祥は諸説ありますが、江戸時代に新潟県で生まれた唄が各地に広まったとされています。

そのテンポの良い軽快な曲は群馬県民の気風にあっという間に、歌詞は国定忠治のことを唄いたくて詩が作られたとされています。



▲西宮神社の御朱印

行ってみたい!!

まるみ

御朱印レディーさん紹介の日本三大毘沙門天の一つ、足利の大岩山毘沙門天に行ってきた。山火事の影響で修復中の金剛力士像(阿行・吡行)などは見ら

## 笠懸短歌サークル

八月例会より



山道に角のみ捨つらる兜虫カラス襲ふと友は語りぬ  
初孫はプールデビューに笑顔あふれ幼き頃の娘思はず  
凄惨な丸木夫妻の原爆絵命の極み蘇る今  
蔓草の赤芽垣覆ふその様に今日も退治とノコギリ鎌持つ  
盆棚を去年のとおりに組みにしが何か足りない何か足りない  
引き出しに千代紙見つけ思ひ出づ折り鶴を孫と作りし頃を

上村 征子  
加藤 康子  
久保田茂子  
近藤ふさ子  
関口 定夫  
平山 勇

れたとされています。

桐生市には恵比寿講祭りもあり、商売繁盛・家内安全を願う関東一社の西宮神社で開催されます。参道には熊手やお宝の露店が並び県内外から沢山の人が訪れます。

御朱印は恵比寿講の時に直接書いて頂けます。

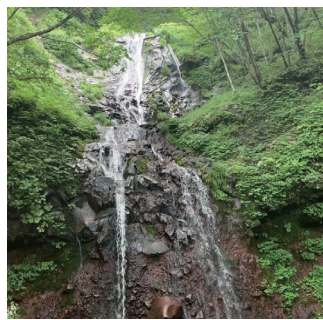
れなかつたが、本堂や大杉に歴史を感じた。そこから300歩くらい上った所に「天空テラス」という展望台もあり遠くまで一望できるすばらしいながめだった。目指すは山登りだが今は足腰を鍛えているところ。近場で歩けるいい所検索中!

### 滝めぐり

#### 滝レディー

太陽が燦々と輝く暑い日 8月17日に山崖の滝に行ってきました。

赤城山登山口にある利平茶屋森林公園内の山崖の滝。駐車場から歩いて25分程度、道は遊歩道と言いながら中々険しい道のりでした。



▲山崖の滝



▲キャンプ場横の川

しかし、キャンプ場を抜け大自然を楽しむながらの散策はとても心地よく癒されます。

山崖の滝に着いた時にはその雄大さに驚きます。落差40mもあると言われています。滝まで近づき落ちてくる水に手を入れることもできません。水はとても冷たく長くは手を入れていただけません。

### ちょっと一息



サバトラ柄(クロちゃん)と茶トラ柄(キロちゃん)とキジトラ柄(ニグちゃん)のねこ3匹を飼っている。前者の2匹は10年くらい前にもらってきて、3匹目は捨て猫だったのか同時期に我が家にもぐりこんだ。クロちゃんは、筋肉質で動きもよく他の猫の排便後の処理もしてくれるエリートタイプ。キロちゃんは抱こうとすると手足を突っ張るマイペース。ニグちゃんは、えさを食べるのが早くほかの猫のえさまで横取りする食いしん坊。TVで呼び鈴を「チンチン」と鳴らすとエサをもらおうというCMを見て、うちも試してみた。練習の成果かクロちゃんだけが「チンチン」と鳴らし、「鳴らしたわよ、えさちょうだい」みたいに人の顔を見つめる。さすがはエリート!!毎日、ねこの話題は尽きない。「こはかすがい」or「ねこはかすがい」でもいいかも...

美